

1960

第一代 號

一特檢通第一〇一號

特命檢閱課目ノ件通牒

昭和六年五月九日

第一特命檢閱使屬員 西尾 壽

陸軍少将 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閱ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍技術本部

陸軍科學研究所

陸軍省 6.5.15 器材課

陸軍省 6.5.19

陸軍省 6.5.18 銃

陸軍

陸軍技術本部 檢閲課目及時間豫定表

日 五 十 月 五		月 日	午前	午後	時間	課 目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場 所	摘 要
後	午				2.00	研究品ノ實視				巡視中主要研究品ヲ實視シ得ル如クスヘシ
前	午				0.40	試 問	士官全員 大佐部員			一、巡視場所ハ別ニ示ス 二、平常ノ通報勢ニアルヘシ
					1.40	書類査閲	上長官全員 部長			一、試問事項ハ別ニ示ス 二、屬員ヲシテ試問セシムルコトアリ 三、場所ヲ區分シ同時ニ行フヘシ
					1.00	本部長状況報告				各部長ヲ參列セシムヘシ 一、書類査閲ハ本部長状況報告ト同時ニ行フコトアリ 二、書類ハ種類別ニ排列シ區クヘシ

考 備

- 一 檢閱開始時刻午前八時三十分迄二時トス
- 二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス
- 三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ
- 四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス
- 五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ
- 六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス
- 七、馬美ヲシテ五月二十一日午後五時三十分ヨリ同四時三十分ヨリ同四時マテ十條支隊ヲ査閲セシム

陸軍科學研究所 檢閲課目及時間豫定表

日 六 十 月 五		月 日	午前 午後	時間	課 目	部隊又ハ人員	統裁官又 ハ教官	場 所	摘 要
後	午			2.00	研究品ノ實視				<ul style="list-style-type: none"> 一、巡視場所ハ別ニ示ス 二、午帯ノ通版發シアルヘシ
前	午			0.40	構内巡視				<ul style="list-style-type: none"> 一、試問事項ハ別ニ示ス 二、爲員ヲシテ試問セシムルコトアリ 三、場所ヲ區分シ同時ニ行フヘシ
				1.40	試問	士官全員 大佐研員			
				0.40	書類査閱	上長官全員 部長			<ul style="list-style-type: none"> 一、書類査閱ハ所長狀況報告ト同時ニ行フコトアリ 二、書類ハ種類別ニ排列シ置クヘシ
				0.40	所長狀況報告				<ul style="list-style-type: none"> 一、所長中將各部長ヲ身列セシムヘシ

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ 午前八時三十分迄ハ一時限ス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七、本馬ハ構内巡視ニ際シ馬検査ヲ受ケ得ル如ク適宜ノ場所ニ繫高シ置クヘシ</p>

貳七〇六

特檢通第一〇二號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十二日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍次官 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍兵器本部

軍馬補充部本部

6.5.15
63
器材課

6.5.15
65

陸軍省
6.5.13
統制課

(小林又七印行)

陸軍

日 七 十 月 五				月 日	陸軍兵器本廠 檢閲課目及時間豫定表
前 午				午後	
0.20	0.40	2.00	0.30	時間	課 目
構内巡視	試 問	書 類 査 閲	本廠長狀況報告		
	全 員	將校同相澤官		部隊又ハ人員	
		本廠長		統裁官又ハ教官	
				場 所	
				摘 要	
		一、試問事項ハ別ニ示ス ニ、属員ヲシテ試問セシムルコトアリ	一、書類査閲ハ本廠長狀況報告ト同時ニ行フコトアリ ニ、書類ハ種類別ニ排列シ置クヘシ		

考	備
	<p>一 検閲開始時刻ハ午前八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七、<small>此日午後一時ヨリ四時マテ反回ナリ</small>午前八時ヨリ午後二時マテ爲員ヲシテ書類ヲ査閲セシム <small>東馬ハ構内巡視ニ際シ馬検査ヲ受ケ付存心セテ適宜ノ場外ニ警告シ置クヘシ</small></p>

日 七 十 月 五				月 日	午前 午後		時間	課 目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場 所	摘 要
	後		午									
	0.10	0.20	1.30	0.30								
	構内巡視	試 問	書類査閲	本部長状況報告								
		全 員	主長官、士官									
			部附少將									
			一、試問事項ハ別ニ示ス									
			二、属員ヲシテ、試問セシムルコトアリ									
			一、書類査閲ハ本部長状況報告ト同時ニ行フコトアリ									
			二、書類ハ種類別ニ排列シ置ク									

軍馬補充部本部 檢閲課目及時間豫定表

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ午後一時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 滿日午後三時三十分ヨリ四時三十分マテ軍馬補充部本部既ニ於テ屬員ヲシテ馬檢査ヲ行ハシム</p>



陸軍 第七三六二

一特檢通第一〇三號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十三日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽造

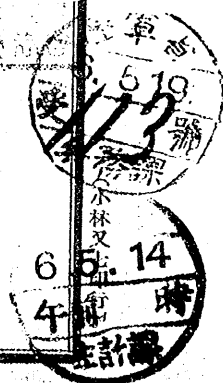
陸軍次官 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍經理學校

陸軍工科學校



陸軍

陸軍經理學校 檢閲課目及時間豫定表

日 八 十 月 五		月 日	午 前		午 後	時間	課 目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場 所	摘 要
9:30	9:50		9:20	9:40	9:50	校長狀況報告					一書類査閲ハ狀況報告ト同時ニ開始ス 二書類ハ種類別ニ排列シ置ク ハシ
	學生教育		校 内 巡 視	試 問	書 類 査 閲						
	甲種學生			教官全員							
	教官			部長							
	軍需品學ニ就キ實施スヘシ										
	作戰給養ニ就キ實施スヘシ										

考	備
<p>一 檢閱開始時刻ハ午前八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 乗馬ハ校内進視ニ際シ馬検査ヲ受テ得ル如ク適宜ノ場所ニ繋蓄シ置クヘシ</p>	Empty table cells

陸軍工科學校 檢閲課目及時間豫定表

月日		五 月 十 八 日				
午前		午 後				
時間		1.30	0.30	0.40	0.20	
課目		學生(生徒)教育	校 内 巡 視	試 問	書 類 査 閲 校長狀況報告	軍 閥 査 査 軍 裝 檢 査
部隊又ハ人員		乙種學生及生徒二學班		上長官、士官 全員	生徒隊全員	
統裁官又ハ教官				教授部長		
場 所						
摘 要			一 巡視場所ハ別ニ示ス 二 學生(生徒)教育ハ校内巡視中約 一 時間ニ術ヲ實シス	一 試問事項ハ別ニ示ス 二 屬員ヨリテ試問セシムルコトアリ	一 書類査閲ハ校長狀況報告ト同時ニ開始ス 二 今校ノ書類ヲモ査閲ス 三 書類ハ種類別ニ排列シ置クヘシ	

考 備

- 一 檢閱開始時刻ハ 午後一時トス
- 二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス
- 三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ
- 四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス
- 五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ
- 六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス
- 七 東京島ハ校内巡視ニ係リ馬検査ヲ受テ得ル如ク適宜ノ場所ニ繫小畜シ置クヘシ

生 衛		理 經	器 兵	區 分	五月十八日陸軍工科學校 屬員查閱課目及時刻豫定表
後		午		區 分	
				午 前	
				時 刻	
				課 目	
				部 隊 又 ハ 人 員	
				統 裁 官 又 教 官	
				場 所	
				摘 要	
自 三十分間	自 三十分間	一 時 間	自 三十分間		
巡 視	衛生材料検査	書類査閲	巡 視		
関係者	関係者	関係者	関係者		
衛生材料検査 炊事場 酒場	医務室		工砲 場		
	ハ備附衛生材料ハ適宜ニ檢査 ニ排列シ置クヘシ ニ省長省護平全員集合 シアルヘシ		校内巡視間巡視ス		

考 備	
<p>一 本表ノ査閲ハ特ニ指定スルモノノ外檢閲課目及時間豫定表ニ示スモノ以外ニ行フモノトス</p> <p>二 査閲實施ノ細部ニ關シテハ更ニ之ヲ指示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ</p> <p>四 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>	

五月十九日陸軍学校橋分校屬員査閲課目及時刻豫定表

		區分	
	前 午	午前 午後	
	一時間 自八時五分	時 刻	
	生徒教育 校内巡視	課 目	
	生徒二學班	部隊又ハ人員	
	関係者	統裁官又 ハ教官	
		場 所	
	ハ巡視場所ハ別ニ示ス ニ生徒教育ハ校内巡視間ニ 於テ約五分間工術ヲ実施 スヘシ	摘 要	

考 備	
<p>一 本表ノ査閲ハ特ニ指定スルモノノ外檢閲課目及時間豫定表ニ示スモノ以外ニ行フモノトス</p> <p>二 査閲實施ノ細部ニ關シテハ更ニ之ヲ指示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ</p> <p>四 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>	

式 七三六 三

一特檢通第一〇四號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十四日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍 少佐 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍技術本部板橋支部

東京陸軍兵器支廠

6. 14 午前

陸軍 5. 15

(小林又七印行)

陸軍

陸軍技術本部技橋支部 檢閲課目及時間豫定表

月日	午前	午後	時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場所	摘要
五月十九日	前	午	0.20	構内巡視				平常ノ通檢査業務ヲ實施シアルベシ
			0.40	書類査閲				一 書類査閲ハ状況報告ト同時ニ開始ス 二 書類ハ種類別ニ排列シ置クベシ
				支部主任状況報告				

考	備

- 一 検閲開始時刻ハキ前ハ時三十分トス
- 二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス
- 三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ
- 四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス
- 五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ
- 六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス

東京陸軍兵器支廠 檢閲課目及時間豫定表

日 九 十 月 五		月日		
後 午	前 午	午後	午前	
2.00	0.30	時間		
構内巡視	試問	課目		
	全 員	部隊又ハ人員		
		統裁官又ハ教官		
	支廠長	場 所		
		摘 要		
<p>一 巡視場所ハ別ニ示ス 二 大塚ハ赤羽大藥庫ハ屬ス 三 作業ハ平常ノ通實施シテシ 四 巡視倉庫ハ使役人員若干ヲ 配置シ置ク</p>	<p>一 試問事項ハ別ニ示ス 二 屬員ヲシテ試問セシムルコトアリ</p>	<p>一 書類査閲ハ支廠長狀況報告ト 同時ニ行フコトアリ 二 書類ハ種類別ニ排列シ置ク</p>	<p>支廠長狀況報告</p>	<p>書類査閲</p>

考	備
<p>一 檢閱開始時刻ハ 午前八時五分後ハ一時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七、五月五日午時入時五分ヨリ時、土曜ニテ居ヌヲシテ書類ヲ査閱セシム</p>	

9860



陸

一特檢通第一〇六號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十六日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍少佐 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍造兵廠

陸軍造兵廠東京工廠

第七二六 共四



陸軍

陸軍造兵廠本部

檢閲課目及時間豫定表

五月二十一日				月日
前		午		午後
時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場所
0.20	構内巡視			
0.30	試問	上長官、士官 全員	部長	
1.20	書類査閲			
1.00	長官状況報告			
				摘
				要

各部長ヲ参列セシムル

一 書類査閲ハ長官状況
ト同時ニ行フコトアリ
ニ 書類ハ種類別ニ排列
クヘシ

一 試問事項ハ別ニ示ス
ニ 係員ヲシテ試問セシムル
アリ

考	備
	<p>一 検閲開始時刻ハ 午前八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 五月二十二日屬員ヲシテ隊中工業動員室内遊藝ヲ査閲セシムルカ詳細ニ関シテ別ニ示ス</p>

陸軍造兵廠東京工廠檢閲課目及時間豫定表

五月二十一日					月日
					午前
					午後
					時間
					課目
					部隊又ハ人員
					統裁官又ハ教官
					場所
					摘
					要
100	構内巡視				
0.30	試問	士官全員	先任教官		一巡視場所ハ別ニ示ス ニ作業ハ平常ノ通實施シアルヘシ
0.40	書類査閲	工場長	工場長		一書類査閲ハ工場長状況報告 同時ニ行フコトアリ ニ書類ハ種類別ニ排列シ置ク
0.30	工場長状況報告				一試問事項ハ別ニ示ス ニ属員ヲシテ試問セシムルコトアリ 三場所ヲ區分シ同時ニ行フヘシ

考 備	
<p>一 検閲開始時刻ハ午後^{三時}分トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 五月三十一日 屬員ヨシテ運送物ニ業 勲員室内 檢査ヲ 査閲セシムニカ 齊整ニ 閱キハ列ニ示ス</p>	

陸軍造兵廠常備業動員室内演習ニ関スル指示

一 五月二十日別冊想定ニ基キ陸軍造兵廠本部及東京工廠ノ陸軍常備工業動員室内演習ヲ實施ス

二 演習ニ於テ整備スル兵器軍需品目左ノ如ク

十年式輕機関銃

三年式機関銃

投下爆彈彈体

奔帝蹄鉄

眼鏡

無線電信機

三 演習課目ハ動員第一日ヨリ同課三日ニ亘ル間ニ處理スル左ノ事項トス

製造(起工)(起業)命令ニ関スル事項

利用工場ノ取得ノ利用ニ関スル事項

機械器具ノ整備ニ関スル事項

原料材料ノ取得ノ配給ニ関スル事項

電力、動力及設備ノ擴張ニ関スル事項

其他戰時轉移ニ関スル主要事項

四 演習時間ハ五月二十日午前九時ヨリ同日午後三時ニ至ル間トス

演習實施ノ場所ハ陸軍造兵廠内ニ於テ適宜選定スルモノトス

五 統裁官ハ陸軍造兵廠長官之ヲ任命スルモノトス

六 演習員ハ陸軍造兵廠本部及東京工廠ノ將校同相當官下士及文官トシテ

時業務遂行ノ為必要缺クヘカラサル者以外ノ者ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

七 演習實施ノ要領ハ軍需工業動員實施ニ必要ナル戰時組織ヲ編制シ演習員

係上全員ヲ充足シ難キナルハク戰時命謀ト一致スル如ク演習員ヲ配置シ三現ノ

業務ヲ處理セシムルモノトス

八 演習實施ニ關スル細部ノ計畫ハ統裁官ニ於テ立案スルモノトス

前項計畫五部ヲ五月五日午後四時迄ニ檢閲使事務所ニ呈出スルモノトス

別冊

想定

- 一 帝國ハ其問題ニ關シ昨夏以來其三ヶ國ト折衝ヲ重ネツツアリシ
カ今年ニ入りテ紛糾ノ度ヲ加ヘ風雲漸ク急ヲ告クルニ至セリ
- 二 帝國政府ハ今年七月上旬ヲ期シ其三ヶ國ニ對シテ戰端ヲ開クニ決シ
既ニ諸般ノ戰爭準備ニ著手セリ
- 三 陸軍造兵廠長官ハ五月二十日陸軍軍需工業動員實施ニ關スル別紙要
旨ノ命令ヲ受領ス

別紙

陸軍軍需工業動員實施ニ関スル命令要旨

第一條

陸軍軍需工業動員計畫要領以下單ニ要第七條ニ基キ昭

和六年度陸軍軍需工業動員以下單ニ要ノ實施ヲ命ス

第二條

工業動員實施部隊ノ要領第九條及昭和六年度陸軍軍需

工業動員計畫訓令以下單ニ要第七條ニ規定スル部隊トス

第三條

工業動員第八五月二十二日トス

第四條

要領第三十八條ノ要員ハ別冊「要員配當要領」ニ基キ充足ス(畧)

第五條

要領第四十九條ノ軍需品ハ希望通り配給ス

第六條

要領第五十四條第二項ノ軍需品ハ希望通り配給ス

第七條

工業動員實施ニ必要ナル經費ノ支出ニ関シテハ別ニ示ス

0994

陸軍省



閣



式七三六五

一特檢通第一〇七號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十七日

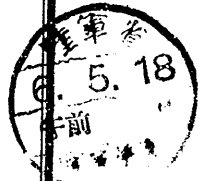
第一特命檢閲使屬員 西尾壽

陸軍次官 杉山元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍少醫學校



(小林又七印行)

陸軍

陸軍軍醫學校 檢閲課目及時間豫定表

月日		午後		午前		時間		課目		部隊又ハ人員		統裁官又ハ教官		場所		摘要	
五月二十三日		前		午		2.00		校長狀況報告								一書類査閲ハ狀況報告ト同時ニ開始ス	
								書類査閲								二書類ハ種類別ニ排列シ置クヘシ	
								校内巡視								一巡視場所ハ別ニ示ス	
								學生教育		乙種士官 學生全員		教官				二巡視中主要研究事項ニ就テ説明スヘシ	
																三學生教育ハ校内巡視中約ニ十分間軍隊防疫學ニ就テ實施スヘシ	

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ午前八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 乘馬ハ枝内巡視ニ際シ馬検査ヲ受ケ得ル如ク適宜ノ場所ニ整齊ニ置ラセ</p>

4660

次官

第七三六六

陸軍省

陸軍省

一特檢通第一〇九號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十八日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍次官 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍造兵廠火工廠本部及十條兵裝製造所

陸軍省
9.5.18
録

陸軍省
造兵廠
火工廠

陸軍

陸軍造兵廠火工廠本部主任技師事務所 檢閲課目及時間豫定表

日 三 十 二 月 五				月 日	午前		午後			
後 午		前		午	時間	課 目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場 所	摘 要
2,00		0,30		0,30	0,30	火工廠長状況報告				
構内巡視		試 問		書類査閲						
		士官全員 主任技師		上長官全員 火工廠長						
		一、巡視場所ハ別ニ示ス 二、作業ハ平常ノ通實施シテモシ 三、麓野川合工場ハ属員ヲシテ巡視 セシム		一、試問事項ハ別ニ示ス 二、属員ヲシテ試問セシムルコトアリ 三、場所ヲ区分シ同時ニ行フヘシ						一、書類査閲ハ火工廠長状況報告 ト同時ニ行フコトアリ 二、書類ハ種類別ニ排列シ置クヘシ

考	備
<p>一 檢閱開始時刻「九時午後八時」ニス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 試問ハ五子及被檢大塚副官等ノ者ヲ同時ニ行フ</p> <p>八 五月二十四日午後一時ヨリ四時ニキリ馬夏ヲシテ書類ヲ査閱セシム</p>	

000T

開

開

式七三六七

一特檢通第一〇號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十九日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍省 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

王子火藥製造所

板橋火藥製造所

陸軍省
6.5.20
71
陸軍省

陸軍省
第一特命檢閲使

陸軍

王子火柴製造所 検閲課目及時間豫定表

月日	午後	時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場所	摘要
五月	前	十時	書類査閲				書類種類別ニ排列シ置クヘシ
五月	前	十時	構内巡視				一 巡視場所ハ別ニ示ス 二 作業ハ平常ノ通實施シテモ 三 合工場ハ属員ヲシテ巡視トシム
		0.40					

考	備
	<p>一 検閲開始時刻ハ「新八時」トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>

板橋火薬製造所 検閲課目及時間豫定表

月日	午後	午前	時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場所	摘	要
五月二十日		午前	0.40	構内巡視					
		午後	1.00	書類査閲					

一、巡視場所ハ別ニ示ス
 二、作業ハ平常ノ通實施シアル
 ハシ

書類ハ種類別ニ排列シ置クシ

考 備	
<p>一 検閲開始時刻ハ 午前十時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>	

1005



閣
秘

別紙
陸軍省
第七三六八

陸造甲第一九三號

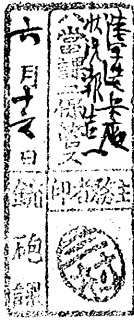
特命檢閱ニ關スル書類提出ノ件報告

昭和六年五月拾八日

陸軍造兵廠長官 緒方勝

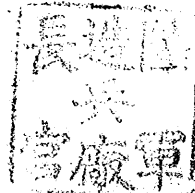
陸軍大臣 南次郎 殿

本月二十一日ヨリ施行セラルヘキ當廠及東京工廠、火工廠ニ於ケル特命檢閱ニ關スル書類別紙目録ノ通提出セシニ付報告ス



昭和六年八月廿七日 式第一二二〇號 水濱

陸軍



目録

一、陸軍造兵廠狀況報告別冊軍需工業動員計畫概要

以上軍事機密第一連番號第參之號壹部

二、陸軍造兵廠東京工廠狀況報告別冊軍需工業動員計畫概要

三、陸軍造兵廠東京工廠小銃製造所長業務概況書別冊概要

四、陸軍造兵廠東京工廠砲具製造所長業務概況書別冊概要

五、陸軍造兵廠火工廠板橋火藥製造所長業務概況書別冊概要

六、陸軍造兵廠火工廠王子火藥製造所長業務概況書別冊概要

七、陸軍造兵廠火工廠十條兵器製造所長業務概況書別冊概要

以上軍事機密第一連番號第貳五號各壹部

目録

陸軍造兵廠本部

- 一 陸軍造兵廠状況報告
- 二 總務部長業務概況書
- 三 作業部長業務概況書
- 四 技術部長業務概況書
- 五 會計部長業務概況書
- 六 陸軍造兵廠經理概況書
- 七 同右別表
- 八 陸軍造兵廠衛生概況書
- 九 造兵廠本部構内建物配置圖

東京工廠

- 一、陸軍造兵廠東京工廠狀況報告
- 二、小銃製造^{所長}兼廠業務概況書
- 三、砲具製造所長業務概況書
- 四、停職休職處罰者退校(學)者及逃亡喪死者數一覽表
- 五、陸軍造兵廠東京工廠經理概況書
- 六、陸軍造兵廠東京工廠衛生概況書
- 七、陸軍造兵廠東京工廠構内建物配置要圖

火工廠

- 一、陸軍造兵廠火工廠狀況報告
- 二、板橋火藥製造所長業務概況書

- 三 王子火藥製造所長業務概況書
- 四 十條兵器製造所長業務概況書
- 五 停職休職處罰者退校(學)者及逃亡妻死者數一覽表
- 六 陸軍造兵廠火工廠經理概況書
- 七 陸軍造兵廠火工廠衛生概況書
- 八 陸軍造兵廠火工廠構内建物配置要圖

以上各一部

次官



1010

第七十六號 其九



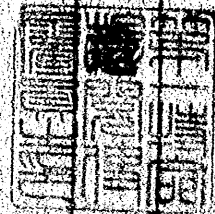
一特檢通第一二二號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月二十九日

第一特命檢閲使屬員 西尾壽

陸軍 次長 杉山元 殿



左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セラレ

左記

陸軍衛生材料廠

陸軍

1011

日六十二月五

陸軍衛生材料廠 檢閲課目及時間豫定表

月日	午前 午後	時間	課	目	部隊又ハ人員	統裁官又 ハ教官	場	所	摘	要
	前	1.20		研究品ノ實視					巡視中主要研究品ヲ實視シ得ル如クスヘシ	
	午	0.30		書類査閲					一 書類査閲ハ廠長狀況報告ニ同時ニ行フコトアリ 二 書類ハ種數別ニ排列シ置クヘシ	
		0.20		廠長狀況報告					一 巡視場所ハ別ニホス 二 作業ハ平常ノ通實施シアルヘシ 三 巡視倉庫ニハ使役人員若干ヲ配置シ置クヘシ	

考	備
<p>一 檢閱開始時刻ハ午前八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「ア」ラビ「ヤ」トス「數字」ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ查閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 橋内巡視後引續正午迄屬員ヲシテ書類ヲ查閱セシム</p> <p>八 象馬ハ橋内巡視ニ際シ馬検査ヲ受ケ得ル如ク適宜ノ場所ニ繋蓄シ置クベシ</p>	Empty table body

1013

次官



式七三六

一特檢通第一四號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月二十四日

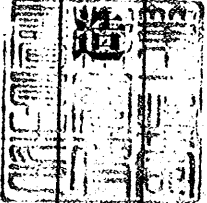
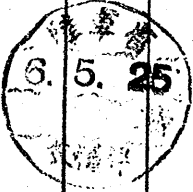
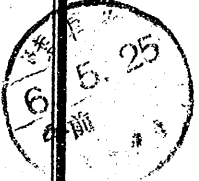
第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍 為原 杉ノ山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍被服本廠



(小林又七印行)

陸軍

陸軍被服本廠 檢閲課目及時間豫定表

月日		午前		午後		時間		課目		部隊又ハ人員		統裁官又ハ教官		場所		摘		要	
五月十二日																			
午前																			
午後																			
2.30																			
0.30																			
1.30																			
0.30																			
研究品ノ實視																			
構内巡視																			
試問																			
書類査閲																			
本廠長狀況報告																			
上長官、士官、全員																			
本廠長																			
一、巡視場所ハ別ニ示ス																			
二、本業ハ平常ノ通實施シアルヘシ																			
三、上長候補者ノ實務教育ヲ専修ス																			
四、巡視倉庫ハ被服倉庫ナラズ																			
主要研究品ノ實際ニ使用スル狀況ヲ示ス																			
一、書類査閲ハ本廠長狀況報告ト同時ニ行フコトアリ																			
二、書類ハ種類別ニ排列シ置ク																			
一、試問事項ハ別ニ示ス																			
二、属員ヲシテ試問ヒシムルコトアリ																			

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ午前八時・午後六時三十分トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>又、五月三日午前七時ヨリ至午時迄、馬場町警察署ニ於テ、 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p>

1016

閱

式七三六一一

一特檢通第一一五號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年五月十五日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍次官 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

千住製絨所

(小林又七印行)

陸軍

日 十 三 月 五			月 日
前			午 前
午			後 前
1.00	1.30	0.30	時 間
構 内 巡 視	書 類 査 閲	所 長 状 況 報 告	課 目
			部 隊 又 ハ 人 員
			統 裁 官 又 ハ 教 官
			場 所
			摘 要
	一 巡 視 場 所 ハ 別 ニ 示 ス 二 作 業 ハ 平 常 ノ 通 實 施 シ ャ ル コト	一 書 類 査 閲 ハ 所 長 状 況 報 告 ト 同 時 ニ 行 フ コト アリ 二 書 類 ハ 種 類 別 ニ 排 列 シ 置 ヲ ス	

千 住 製 紙 所 檢 閲 課 目 及 時 間 豫 定 表

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ 午前九時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七、當日 午後一時ヨリ四時マデ 爲美ヲシテ書類ヲ査閱セシム</p>

1019

一特檢通第ニ九號

特命檢閲査閲課目ノ件通牒

昭和六年五月二十七日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍 少官 杉 山元 殿

左記部隊ノ査閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍 獣醫学校

二
七
三
六
二
二

陸軍省

6.5.28
120

6.5.29
陸軍省

陸軍

陸軍獸醫學校

檢閲課目及時間豫定表

月日	午前	午後	時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場所	摘要
六月		午後	0.50	校長狀況報告				書類査閱ハ狀況報告同時ニ開始ス
			0.50	書類査閱				書類ハ種類別ニ排列ス
			0.50	校内巡視				各擔任者ヲシテ研究試驗事項ノ説明ヲ行ハシム
			0.25	蹄鐵工長候補者教育				造鐵ヲ實施ス
			0.25	七種士官學生教育				外科手術ヲ實施ス
				全	員教官手術室			教授部長ハ所見ヲ述ブ

考	備
<p>七 乗馬ハ校内巡視ニ際シ馬検査ヲ受テ得ル如ク適宜ノ場所ニ乗馬シ置クニ</p>	<p>一 検閲開始時刻を後一時トス 二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス 三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ 四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス 五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ 六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>

次官

閣

二

式
第七三六
三

一特檢通第一三〇號

特命檢閲査閲課目ノ件通牒

昭和六年五月二十八日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

陸軍 陸軍 杉山 元 殿

左記部隊ノ査閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

陸軍 糧秣本廠

陸軍省
6.5.29
陸軍省

6.5.29
陸軍省

陸軍省
糧秣本廠

陸軍

陸軍糧秣本廠 檢閲課目及時間豫定表

日 二 月 六				月日
前		午		午後
2.00	0.20	1.00	0.30	時間
研究品ノ實視	構内巡視	試問	本廠長狀況報告	課目
		全 員		部隊又ハ人員
				統裁官又ハ教官
				場 所
				摘 要
		上長官、士官		
		本廠長		
主要研究品ノ實際ニ使用スル 狀況ヲ示スヘシ	一、巡視場所ハ別ニ示ス 二、作業ハ手席ノ通定員施シマレ ヘシ 三、巡視倉庫使役人員若干ヲ配 置シ置クヘシ	一、試問事項ハ別ニ示ス 二、屬員ヲシテ試問セシムルコトアリ	一、書類全開ハ本廠長狀況報告 ト同時ニ行フコトアリ 二、書類ハ種類別ニ棟列シ置クヘシ	

考	備
	<p>一 検閲開始時刻ハ 午前八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 當日午後一時至四時迄馬場員ヲシテ書類ヲ査閲セシム</p> <p>八 六月四日午前十一時ヨリ正午迄馬場員ヲシテ書類ヲ査閲セシム</p> <p>九 來馬ハ橋内進徳ニ際シ馬場員ヲ受テ得シニテ倉庫ヨリ査閲セシム</p> <p>十 適宜ノ場所ニ禁書ヲ置クハシ</p>



陸

陸軍省 第六六二二號

經學發第一六八號

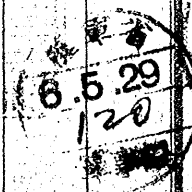
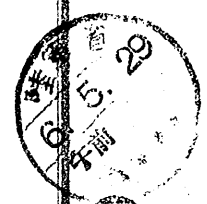
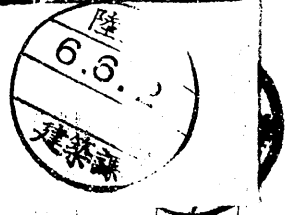
特命檢閲訓示ノ件報告

昭和六年五月二十八日 陸軍經理學校長 小野寺長治郎

陸軍大臣 南 次 郎 殿

本月十八日實施セラレタル特命檢閲ニ關シ本日別紙ノ通第一特命
 檢閱使ヨリ訓示セラレタルニ付報告ス

	課長
	一
	二
	三
	四
	五
	調査



陸軍

陸軍經理學校長ニ與フル訓示

昭和六年五月二十八日
東京

教旨ヲ奉シ陸軍經理學校ノ檢閲ヲ實施セル結果ニ徴シ訓示ス

軍紀

軍紀ハ校長ノ適切ナル指導ニ依リ概ネ良好ニ維持セラレアルモノト認ム

服務

校長ノ監督指導並職員一般服務ノ状態ハ概ネ良好ナリト認ム
内務ノ實績ハ概ネ可ナリ

教育及研究

教育ハ校長ノ適切ナル方針及指導ト教官ノ精勵努力トニ依リ概ネ順調ナル進境ニアルモノト認ム

陸軍經理學校
長

研究ノ実績ハ可ナリ	保 育	職員保健ノ状態ハ概ネ可ナルモ學生ノ保健ニ關シテハ一層ノ注意ヲ要スルモノアリ	法規ノ實施	法規ノ實施ハ概ネ可ナリ	會計經理	會計經理ノ成績ハ概ネ良好ナリ	諸營造物	諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ	之ヲ要スルニ校長ノ適切ナル監督指導ト職員ノ精勵トニ依リ諸般ノ
-----------	--------	---------------------------------------	-------	-------------	------	----------------	------	---------------	--------------------------------

成績概ネ良好ナリト認ム然レトモ本校使命ノ重大ナルニ鑑ミ將來益々研讀ヲ重ネ愈々實績ノ向上ヲ圖リ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

細部ニ關スル注意ハ別ニ之ヲ指示ス

第一特命檢閱使

白川 義 則

表

裏

一特檢通第一二二號

特命檢閲査閲課目ノ件通牒

昭和六年五月二十九日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

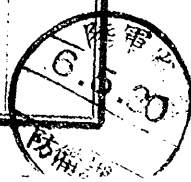
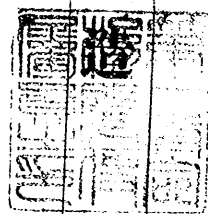
陸軍次官 杉山 元 殿

左記部隊ノ査閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

築城部本部

七二六



陸軍

築城部本部 検閲課目及時間豫定表

月日	午後 午前	時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又 ハ教官	場所	摘要
六月	前	0,30	本部長状況報告				
六月	前	1,00	書類査閲				一、書類査閲ハ本部長状況報告 ト同時ニ行フコトアリ ニ、書類ハ種類別ニ排列シ直 クヘシ
六月	前	0,30	試問	上長官全員 士官全員	高級部員 次級部員		一、試問事項ハ別ニ示ス ニ、局員ヲシテ試問セシムルコトアリ 三、場所ヲ巨分ニテ同時ニ行フヘシ
六月	前	0,20	構内巡視				

考 備	
<p>一 檢閱開始時刻ハ キ前入時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>	

第七三六

一六五

6.5.30

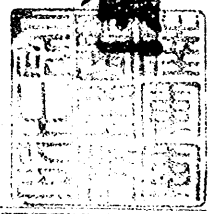
訓示並指示事項ノ件報告

昭和六年五月廿八日

陸軍軍醫局長 一木儀

陸軍大臣 南次郎殿

去ル二十三日施行サレタル特命検閲ニ関シ検閲
候ヨリ別紙ノ通訓示並指示事項アリタルニ付
報告ス



陸軍軍醫學校長ニ與フル訓示

昭和六年五月二十日
於東京

睿旨ヲ奉シ陸軍軍醫學校ノ檢閲ヲ實施セル結果ニ徴シ
訓示ス

軍紀

軍紀ハ校長ノ適切ナル指導ニ依リ概ネ良好ニ維持セ
ラレアルモ、ト認ム

服務

校長ノ監督指導並職員一般服務ノ狀態ハ概ネ良好ナ
リト認ム

内務ノ實績ハ概ネ可ナリ

教育及研究

教育ハ校長ノ適切ナル方針及指導ト職員ノ研鑽努力トニ依リ概テ順調ナル進境ニ在ルモノト認ム
 研究ノ実績ハ可ナリ

保育

職員保健ノ状態ハ概テ可ナルモ學生ノ保健ニ就テハ一層ノ注意ヲ要スルモノアリ

法規ノ實施

法規ノ實施ハ概テ可ナリ

會計經理

會計經理ノ成績ハ概テ良好ナルモノト認ム

諸營造物

諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ

之ヲ要スルニ校長ハ熱誠部下ヲ指導シ職員亦能ク校長ノ意ヲ體シテ職務ニ精勵シ諸般ノ成績概ネ良好ナリト認ム然レトモ本校ノ使命ハ單事ノ進歩ト共ニ益々重大性ヲ加フルニ鑑ミ將來愈々研鑽ヲ重ネ實績ノ向上ヲ圖リ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

細部ニ関スル注意ハ別ニ之ヲ指示ス

第一特命檢閲使

白川義則

陸軍軍醫學校長ニ與フル指示事項

服 務

- (一) 内務ノ実績ハ概ネ可ナリ然レトモ業務ノ統制特ニ命令下達及會報ニ就テハ研究ヲ要スルモノアリ
 - (二) 服務細則ノ内容ハ尙取捨整理ヲ要スルモノアリ
 - (三) 火災豫防及消防ニ関スル実績ハ概ネ可ナルモ校外消防隊トノ連絡及給水ノ設備ニ関シテハ尙研究ヲ要スルモノアリ
 - (四) 職務密書類ノ取扱ハ概ネ可ナルモ之ニ関スル規定ノ趣旨ヲ理解シ取扱ノ適正ヲ期スルノ著意十分ナラサルモノアリ
- 教 育 又 研 究
- (一) 學生教育ハ綱領、教則ニ基キ概ネ整正的確ニ実施セラレアルモノト認ム
 - (二) 乙種士官學生ニ對スル防疫學ノ教育ハ計畫實施共ニ概ネ適切ナリ

(三) 本校ニ於ケル研究ハ一般醫學及化學兵器進歩ノ趨
 勢ニ鑑ミ銳意研鑽ニ勉メ重要ナル業績ヲ擧ゲアルハ可
 ナリ然レトモ豫想作戰地ノ衛生ニ関スル調査研究ハ一層向
 上ヲ要スルモノアリ

三 經理

經理ニ関スル計畫實施ハ概ネ良好ナルモ研究用小動物所
 要金額相當多額ニ上リ且永續的ニ需用アル狀況ニ鑑ミ之カ
 有利調達ニ就テハ尚研究ノ餘地アリ

四 衛生

學生ノ保健ニ就テハ相當注意シアルヲ認ムルモ依病缺席及退學
 者甚カラサルニ鑑ミ之カ減少ニ関シ一段ノ研究努力ヲ要ス

開

秘

次官

兵器局

1038

銃砲

別紙一摺附帶

第七三六六號

陸造甲第二一九號

特命檢閲ニ關スル件報告

昭和六年五月二十八日

陸軍造兵廠長官 緒方勝一

陸軍大臣 南次郎 殿

第一特命檢閲使白川大將左記ノ通當廠ノ檢閲ヲ施行セラレタルニ付報告ス

左記

- 一、四月十一日別紙第一、一特檢命第二號特命檢閲ニ關スル命令別紙第二、一特檢通第二五號特命檢閲一般ニ關スル通牒及別紙第三、一特檢通第二六號書類提出ノ件通牒ヲ受領ス
- 一、四月十八日別紙第四、一特檢命第一〇號特命檢閲ニ關スル命令ヲ受領ス
- 一、五月十四日午前十時ヨリ東京偕行社ニ於テ伺候式ヲ行ハル
- 一、五月十六日別紙第五、一特檢命第五一號檢閲課目ノ件命令ヲ受領ス

陸軍省 6.6.30 陸軍省 陸軍省 陸軍省

陸軍省 6.6.21 69 器材課

陸軍省 6.6.30 陸軍省 陸軍省

陸軍造兵廠長官

陸軍

- 一、五月十八日別紙第六、一特檢命第五四號檢閱課目ノ件命令ヲ受領ス
- 一、五月十九日別紙第七、一特檢命第五五號檢閱課目ノ件命令ヲ受領ス
- 一、五月二十一日午前造兵廠本部 同日午後東京工廠ノ檢閱ヲ施行セラル
當日本職ノ檢閱使ニ對シ口頭報告セシ要旨別冊ノ如シ
- 一、五月二十二日檢閱使副員ヲシテ軍需工業動員室内演習ヲ査閲セシメラル
統裁官ノ立案セル演習實施ニ關スル細部ノ計畫ハ別紙第八 陸軍造兵廠本部
工業動員室内演習計畫ノ概要並演習指導要領ノ如シ 東京工廠 軍需
- 一、五月二十三日火工廠本部並十條兵器製造所ノ檢閱ヲ施行セラル
- 一、五月二十四日午前王子、板橋兩火藥製造所ノ檢閱ヲ施行セラル 午后ノ副員査
閱ハ取止メラル
- 一、檢閱間左ノ通火災演習ヲ實施セシメラル
 - 1、東京工廠構内並十條兵器製造所構内ニ於テ消防夫ノミヲ以テスル簡單ナル演

習

2、板橋火藥製造所構内ニ於テ別紙第九命令ニヨル演習（午前十一時五十分頃
リ約四十分間）

兼 洗

一、書類査閱間別室ニ於テ檢閱使ニ對シ供覽説明セシ事項左ノ如シ
1、造兵廠本部

特種發動機説明

十四年式拳銃生産費ノ高キ理由

各種熔接作業進歩ノ狀況

東京工廠「ヂニラルミン」製造進歩ノ狀況

器具「ウチヂヤ」利用ノ狀況

生産費低下ノ目的ヲ以テスル制式改正ノ必要（見本品ニテ説明）

陸

軍

大阪工廠平射歩兵砲彈丸製造及九〇式野砲製造設備改善ノ說明（設計圖ニテ）

2、東京工廠

小倉新設備ノ說明

硝子板ニ細小分畫描畫ノ說明

8、火工廠本部

十條、王子、板橋各製造所位置ヲ圖上ニテ說明

福岡村選定理由ノ說明

十條方面電力、瓦斯及水道ニ關スル說明

屋上露台ヨリ展望現地ノ說明

4、王子火藥製造所

耐酸陶器、鐵器、鋼器說明

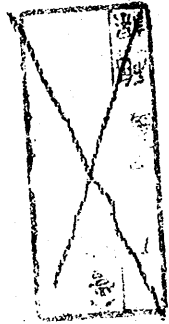
酸ト齒牙ノ關係說明

5、板橋火藥製造所

火工廠研究ノ「トロチル」火藥、無溶劑火藥說明

板橋火藥製造所沿革說明

- 一、五月二十八日午前十一時三十分ヨリ東京偕行社ニ於テ別紙第十ノ訓示ヲ受ケ同日午後一時造兵廠本部高等官、東京、火工兩工廠長ヲ集メ傳達ス
- 二、特命檢閱ニ關シ特ニ調製ノ上檢閱使ニ提出セシ書類概ネ別紙第十一目錄ノ如シ但シ大臣宛未提出ノモノハ別送ス



陸軍

式第七二七六ノ一

甲第六五號

6. 午前

5. 30

陸軍省

警

陸軍省 6. 21 午後 30

特命検閲ニ関スル件報告

昭和六年五月廿九日

陸軍兵器本廠長 鈴木

陸軍大臣 南次郎殿

陸軍省 兵器本廠 印

左記曰次ヲ以テ當廠及管下部隊ハ各特命検閲ヲ施
行セリ別紙ノ通訓示アリタルニ存報ス

左記

日次	受検部隊	検閲使
五月十二日	陸軍兵器本廠平塚事務所	第三特命検閲使 鈴木大將
五月十八日	陸軍兵器本廠	第一特命検閲使 白川大將
五月十九日	東京陸軍兵器支廠	

陸軍



陸軍兵器本廠平壤出張所長ニ與フル訓示

昭和六年五月十三日
於 平 壤

勅旨ヲ奉シ陸軍兵器本廠平壤出張所ノ檢閲ヲ實施セル結果ニ徴シ訓示ス

軍 紀

軍紀ノ維持ハ概ネ可ナリ

服 務

所長以下職務ニ勉勵シ其成績概ネ可ナリ

教 育

教育計畫ハ綿密ニシテ其實施亦適當ナリ

保 育

保育ハ概ネ可ナリ

法規ノ實施

法規ノ實施ハ概ネ可ナリ

動員計畫

軍需工業動員ニ關スル計畫ハ概ネ可ナリ

會計經理

經理ニ關スル計畫及實施ハ概ネ可ナルモ勤勉手當ノ支給ニ關シテハ注意ヲ要スルモノアリ

兵器

兵器ノ貯藏並業務ノ成績ハ概ネ可ナリ

諸營造物

諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ

之ヲ要スルニ所長以下職務ニ勉勵シ其成績概ネ良好ナリ將來益々奮勵努力シ業務ノ進歩向上ヲ圖リ以テ聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

第二特命檢閱使

鈴木

木

孝

雄



陸軍兵器本廠長ニ與フル訓示

昭和六年五月二十八日
於東京

叡旨ヲ奉シ陸軍兵器本廠及東京陸軍兵器支廠ノ檢閲ヲ實施セル結果ニ徴シ
訓示ス

軍紀

軍紀ハ本廠長ノ適切ナル指導ニ依リ概ネ良好ニ維持セラレアルモノト認
ム

服務

本廠長ノ廠務ノ總理竝指導ハ適切ニシテ本廠及東京支廠職員亦能ク本廠
長ノ意圖ヲ體シ職務ニ精勵シアルモノト認ム
内務ノ實績ハ概ネ可ナリ

主務

兵器ノ調辨計畫竝之カ實施ハ概ネ可ナルモ平戰兩時ニ於ケル調達ノ調和

ニ關シテハ尙研究ヲ要スルモノアリ

兵器ノ貯藏、保全及整理ニ關スル計畫、指導迄之カ實施ハ概ネ可ナリ

兵器ノ平時補給業務ハ概ネ可ナルモ補給用數量ニ就テハ尙研究ノ餘地アリ

教育

職員及職工ニ對スル教育ノ計畫並實施ハ概ネ良好ナリ

保育

職員以下保健ノ状態ハ概ネ可ナリ

勤員

軍動員計畫ハ概ネ適當ナリ然レトモ東京支廠ニ在リテハ尙細部ニ於テ研究改善ヲ要スルモノアリ

軍需工業動員計畫ハ概ネ可ニシテ實施ニ大ナル支障ナキモノト認ムルモ

之カ基礎タル資源調査ニ關シテハ尙努力ヲ要スルモノアリ
將校ノ動員ニ關スル智識ハ尙向上ノ要アリ

會計經理

會計經理ノ成績ハ概ネ良好ナリト認ム然レトモ適切ナル調辨計畫ノ策定
ニ關シテハ尙研究ノ餘地アリ

法規ノ實施

法規ノ實施ハ概ネ可ナリ

諸營造物

諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ

之ヲ要スルニ本廠長ノ適切ナル監督、指導ト本廠職員並支廠長以下ノ精勵
トニ依リ諸般ノ成績概ネ良好ナリト認ム然レトモ國軍戰爭準備ノ完整ハ兵
器業務ノ向上刷新ニ俟ツモノ頗ル大ナルニ鑑ミ將來益々奮勵シテ本然ノ任

務ニ遵進シ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ堪スヘシ
細部ニ關スル注意ハ別ニ之ヲ指示ス

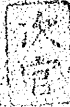
第一特命檢閱書

白川

義

則

1050



関



関

一特檢通第一二三號

特命檢閲査閲課目ノ件通牒

昭和六年五月三十日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

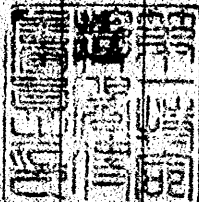
陸軍少佐 杉山 元 殿

左記部隊ノ査閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

華城郡横須賀支部

第七三六九



陸軍

築城部横須賀支部 検閲課目及時間豫定表

日 四 月 六			月 日
前 午			午後 前
0.20	0.10	0.50	
衣笠弾薬本庫巡視	構内巡視	書類査閲	支部長状況報告
部 隊 又 ハ 人 員			課 目
ハ 統 裁 官 又 ハ 教 官			場 所
摘			要
<p>二事ハ平常ノ通實施シアルヘシ</p>			<p>一、書類査閲ハ支部長状況報告 ト同時ニ開始ス 二、書類ハ種類別ニ排列シ置ク ヘシ</p>

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ、午前八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七、六月五日爲美ラシテ湖ノ崎身一砲臺ノ工事ヲ査閱セシム</p>

1053

一特檢通第一三八號

特命檢閲課目ノ件通牒

昭和六年六月五日

第一特命檢閲使屬員 西尾 壽

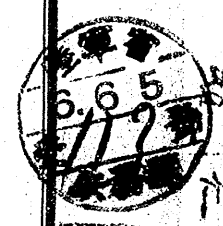
陸軍監官 杉山 元 殿

左記部隊ノ檢閲ニ關シ別紙ノ通命令セララル

左記

下志津陸軍老行學校

七三六二〇



(小林又七印行)

陸軍

下志津陸軍飛行學校 檢閲課目及時間豫定表

月日	午後	午前	時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場所	摘
六月	午後	午前	020	甲閱 軍裝検査 査兵 教導隊				
	午後	午前	030	校長狀況報告				書類査閱ハ校長狀況報告ト同時ニ行フコトアリ
	午後	午前	040	書類査閱				書類ハ種類別ニ排列シ置ク
	午後	午前	030	試問	職員名中少佐 大尉同相席官 同相席官	教育部長 主任中佐		試問事項ハ別ニ示ス 二 属員ヲシテ試問セシムルコトアリ 三 場所ヲ區分シ同時ニ行スル
	午後	午前	040	校由巡視				一 巡視場所ハ別ニ示ス 二 工場ハ通常ノ通作業シテハハレ
	午後	午前	040	中隊教練				一 遭難戰ニ於ケル偵察飛行中隊天隊内中隊トシテ行動航大演習ニシ 二 校長ハ所見ヲ述ス

考 備		後
<p>一 檢閱開始時刻ハ午前八時五分 午後八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ查閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 括弧内ノ課目ハ天候ニ依リ進行ノ實施困難ナル場合ニ代ヘキモノヲ示ス</p> <p>八 右課目變更ハ校長ニ於テ決定スル</p> <p>本表課目ノ軍裝検査ニ終了後、講義及陸軍野戰砲兵學校職員ノ伺候ヲ行フ</p>		<p>1.9</p> <p>(圖上戰術)</p> <p>職員タル少佐大尉</p> <p>尉約十五名</p> <p>中佐監督</p> <p>一 主トシテ機勢ナル敵空中勢力</p> <p>ニ對スル場合ノ航空部隊ノ</p> <p>用法ニ就キ實施スル</p> <p>ニ校長ノ所見ヲ述スル</p>

六月十三日下志津陸軍飛行學校 屬員查閱課目及時刻豫定表

兵 器		經 理		衛 生		
午後		午後		午後		
區分	時刻	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場 所	摘 要
自正午 一時五分間	巡	巡	關係者		材料廠 格納庫	一工場ハ平常ノ通作業シヨル ハニ ニ巡視ノ際兵器委員ハ機関 銃ヲ検査スヘシ(約五分)
自正午	書類查閱	書類查閱	關係者		材料庫 炊事場	
自正午 一時五分間	巡	巡	關係者		醫務室	一備附衛生材料ハ適宜ノ箇 所ニ排列シ置クヘシ ニ檢閲ニ差支ナキ看護長着 護卒ハ集合シアルヘシ
自零時五分 五分間	巡	巡	關係者		醫務室 炊事場 工燃事場	

考 備	
<p>一 本表ノ査閲ハ特ニ指定スルモノノ外檢閲課目及時間豫定表ニ示スモノ以外ニ行フモノトス</p> <p>二 査閲實施ノ細部ニ關シテハ更ニ之ヲ指示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ</p> <p>四 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>	

陸軍航空本部 檢閲課目及時間豫定表

日 五 月 六		月 日	午 前	午 後	時 間	課 目	部 隊 又 ハ 人 員	統 裁 官 又 ハ 教 官	場 所	摘 要
	前				0.40	試 問	上官全員 課長			一、試問事項ハ別ニ示ス ニ、屬員ヲシテ試問セシムルコト アリ 三、場所ヲ區分シ同時ニ行フ ベシ
					0.20	構内巡視	上官全員 部長			
					1.30	書類査閲				一、書類査閲ハ本部長狀況報告 ト同時ニ行フコトアリ ニ、書類ハ種類毎ニ抽選シ置ス
					0.40	本部長狀況報告				各部長ハ技術部長ヲ除キ參列 セシムル

考	備
<p>一 檢閱開始時刻午前八時三十分</p> <p>二 本表中時間欄「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 本表ノ外屬員ヲシテ檢閲シムルモノトス</p> <p>同日 六月五日 同二時五分 同二時五分</p> <p>本年六月五日 本年六月五日</p>	Empty table content

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ午前八時三十分トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ查閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 檢閱使到着直後清支部及所澤陸軍駐行學校職員ノ伺候式ヲ行フ</p> <p>八 橋内巡視後引續キ午後三時三十分迄屬員ヲシテ書類有關結構内巡視ヲ行ハシム</p>

新澤陸軍飛行學校

檢閲課目及時間豫定表

月日		午前	午後	時間	課目	部隊又ハ人員	統裁官又ハ教官	場所	摘	要
六月		午前	午後	0.20	團軍裝検査	召集下士候補者				
六月		午前	午後	0.30	校長状況報告					
六月		午前	午後	0.40	書類査閲					
六月		午前	午後	1.00	校内巡視					
六月		午後	午後	0.40	操縦學生教育	將校學生全員	教官			
六月		午後	午後	0.40	(召集下士候補者) 教育	下候補者全員	教官			
六月		午後	午後	0.40	機関學生全員	長期學生等 機関學生全員	教官			

書類査閲ハ校長状況報告ト同時ニ行ハントアリ
書類ハ種類別ニ排列シ置ク
巡視場所ハ別ニ示ス
工場ハ平常通作業トシテハレ
進及ニ應ミル操縦術教育ヲ實施ス
二 教育部長ハ所見ヲ述ス
一 發動機ノ故障探察修治法ニ就キ實施ス
二 教育部長ハ所見ヲ述ス
一 飛行機ノ組立調整ニ就キ實施ス
二 教育部長ハ所見ヲ述ス

考	備
	<p>一 検閲開始時刻ハ午前八時十分午後八時トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ検閲時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ検閲シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閲セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七 招徠ヲ附シタル課目ハ天候ニ依リ飛行ノ實施困難ナル場合ニ代フハキモノヲ示ス 右課目變更ハ校長ニ於テ決定スヘシ</p>

六月六日 竹澤陸軍飛行學校屬員査閲課目及時刻豫定表

	衛生	経理	兵器	區分
	後		午	午前 午後
	自 一時 間	自 一時 間	自 一時 間	時 刻
	巡	巡	巡	課 目
	視 関 係 者	視 関 係 者	視 関 係 者	部 隊 又 ハ 人 員
				統 裁 官 又 ハ 教 官
	工 炊 酒 兵 醫 場 亭 場 保 舎 務 室	炊 材 事 庫 場	材 格 庫 廠	場 所
			工 場 ハ 平 常 ノ 通 作 業 シ テ ハ シ	摘 要

考 備	
<p>一 本表ノ査閲ハ特ニ指定スルモノノ外檢閲課目及時間豫定表ニ示スモノ以外ニ行フモノトス</p> <p>二 査閲實施ノ細部ニ關シテハ更ニ之ヲ指示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ</p> <p>四 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p>	

陸軍航空本部技術部 検閲課目及時間豫定表

六月七日				月日
後	午	前	午	午後前
1.00	0.30	1.00	0.20	時間
研究品、實現	構内巡視	試問	書類査閲	課目
		士官全員 主任教官	上長官全員 部長	部隊又ハ人員
				統裁官又ハ教官
				場
				所
				摘
				要
巡視中主要研究品、實現レ得ル加クスヘシ	一、巡視場所ハ別ニ示ス 二、研究室、工場等ハ平常ノ通作キテノ實態ヲ示シ	一、試問事項ハ別ニ示ス 二、属員ヲシテ試問セシムルコトアリ 三、場所ノ區分レ同時ニ行フヘシ	一、書類査閲ハ技術部長狀況報告ト同時ニ行フコトアリ 二、書類ハ種類別ニ排列シ置ス	

考	備
	<p>一 檢閱開始時刻ハ午前八時^{五分}後八時^{四分}トス</p> <p>二 本表中時間欄ノ「アラビヤ」數字ハ檢閱時間ヲ示ス</p> <p>三 本表ノ豫定ハ天候其他ノ都合ニ依リ之ヲ變更スルコトアリ</p> <p>四 本表中指定ナキモノハ部隊長ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス</p> <p>五 本表ノ外臨時ニ他ノ課目ヲ檢閱シ又ハ屬員ヲシテ臨時隨所ニ就キ査閱セシムルコトアリ</p> <p>六 所見ハ配當時間内ニ於テ述フルモノトス</p> <p>七、檢閱使到着直後伺候式ヲ行フ</p>

関

1069



秘

陸造秘第一七二號

第七三三三

特命檢閲ニ關スル書類提出ノ件報告

昭和六年六月八日

陸軍造兵廠長官 緒方 勝

陸軍大臣 南 次 郎 殿

本年五月十二日施行セラレシ當廠平壤兵器製造所ニ於ケル特命檢閲ニ關スル書類
左記ノ通提出セシニ付別冊ノ通各壹部報告ス

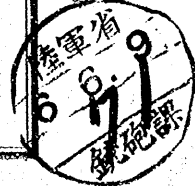
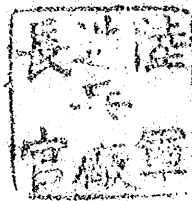
左 記

一、陸軍造兵廠平壤兵器製造所狀況報告

二、全右別冊

昭和六年度軍需工業動員計畫ノ概要

軍事機密第〇〇〇号



陸 軍

1070

一、業 務 概 況 書
一、經 理 概 況 書
一、衛 生 概 況 書

昭和六年八月廿七日 貳第一二二〇號 衛生部

了

関

次

衣糧



1201

第七三五三

糧甲第一四八號



(昭和五年六月加島納五、〇〇枚)

特命檢閲終了ノ件報告

昭和六年六月九日

陸軍糧秣本廠長 横田

陸軍大臣 南 次 郎 殿

本月二日當廠回四日流山倉庫ノ特命檢閲ヲ施行セラレ本日別紙ノ如ク訓示セラレ
右報告ス



陸 軍

陸軍糧秣本廠長ニ與フル訓示
昭和六年六月九日
 東京
 叡旨ヲ奉シ陸軍糧秣本廠ノ檢閲ヲ實施セル
 結果ニ徴シ訓示ス

軍紀

軍紀ハ本廠長ノ適切ナル指導ニ依リ概ネ
 良好ニ維持セラレアルモノト認ム

服務

本廠長ノ廠務ノ掌理並職員一般服務ノ

状態ハ概ネ良好ナリト認ム
 内務ノ實績ハ概ネ可ナリ

主務

經營ニ關スル一般ノ方針並指導ハ概ネ良好ナリ

作業ノ計畫、指導並之カ實施ハ概ネ適當ナリ

調解ニ關スル計畫、指導並之カ實施ハ概

不適當ニシテ其實績亦概不良好ナルモ細
 部ニ就テハ尚研究ヲ要スルモノアリ
 戦用品ノ整備竝格納保全ハ概不可ナリ
 補給業務ハ概不可ナリ
 試験研究ニ關スル計畫竝實施ハ概不適
 當ニシテ其實績亦可ナルモ細部ニ就テハ
 尚研究ヲ要スルモノアリ

教育

教育ニ關スル本廠長ノ方針竝指導ハ適切
ニシテ職員ノ實務ニ關スル識能ハ概テ良
好ナリ

保育

職員以下保健ノ状態ハ可ナリ

法規ノ實施

法規ノ實施ハ概テ可ナリ

勤員

軍動員並軍需工業動員計畫ハ概ネ可ナ
 ルモ細部ニ於テ尚研究改善ヲ要スルモノアリ
 糧秣資源ノ培養ニ關シテハ相當ノ實績
 ヲ收メアルヲ認ムルモ將來一層ノ努力ヲ望ム

會計經理

會計經理ノ成績ハ概ネ良好ナリ

諸營造物

諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ

之ヲ要スルニ本廠長ハ周密適切ニ部下ヲ指導
 シ職員以下能ク本廠長ノ意圖ヲ體シテ職
 務ニ精勵シ諸般ノ成績概ニ良好ナリト認ム
 然レトモ平戰兩時ニ於ケル糧秣整備補給ノ
 巧拙ハ直接國軍ノ活動能力ニ影響スルコト
 頗ル大ナルモノアルニ鑑ニ將來益々奮勵シ愈々
 實績ノ向上ヲ圖リ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラム
 コトヲ期スヘシ

細部ニ關スル注意ハ別ニ之ヲ指示ス
第一特命檢閱使 白川義則

馬政

1029

獸校甲第七五號

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

特命檢閲使ノ訓示及指示事項ノ件報告

昭和六年六月拾日

陸軍獸醫學校長渡邊滿太郎

陸軍大臣南次郎殿

本月一日實施セラレシ當校特命檢閲ニ付別紙ノ通訓示並指示セラレタルニ付報告ス

別紙

七月三日馬政課

陸軍省
6.6.11
陸軍部

陸軍省
6.6.11
陸軍部

陸軍

080T



次官

緘第四一四號

式 七二六 二五

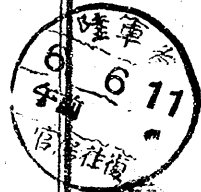
訓示並指示事項ノ件報告

昭和六年六月十日

千住製絨所長長廣兼壽

陸軍大臣南次郎殿

當所特命檢閲ニ関シ昨九日別紙ノ通訓
示並指示事項有之タルニ付報告ス



陸

軍

千住製絨所長ニ與フル訓示
昭和六年六月九日
東京
教旨ヲ奉シ千住製絨所ノ特命檢閲ヲ實施セル
結果ニ徴シ訓示ス

官紀

官紀ハ所長ノ適切ナル指導ニ依リ概テ良好ニ維持
セラレアルモノト認ム

服務

所長ノ所務ノ總理並職員一般服務ノ状態ハ概テ
良好ナリト認ム
内務ノ實績ハ概テ可ナリ

主務

經營ニ関スル一般ノ方針ハ概テ良好ナリ
作業ニ関スル計画及之ヲ實施スルハ概テ可ナルヲ製造

技術ノ刷新作業能率ノ増進並生産費低下ニ
関シテハ高徹底ヲ期スルノ要アリ

資本運用ニ関スル方針並計画ハ概テ適當ナリト認ム
民間軍需工業ノ助長獎勵ニ関スル著意ハ可ナルモ
之カ成果ノ向上ニ就テ尚一層ノ努力ヲ望ム

保 育

職員以下ノ保健ノ状態ハ概テ可ナリ

法規ノ實施

法規ノ實施ハ概テ可ナリ

動力員

軍需工業動力計画ハ概テ可ナリ

各官ノ軍需工業動力ニ関スル智識ハ尚一段ノ向上ヲ
要スルモノアリ

會計經理

會計經理ノ成績ハ概ネ良好ナリト認ム然レトモ
標準原價ノ策定ニ就テハ尚研究ノ餘地アリ

諸營造物

諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ

之ヲ要スルニ所長ノ監督指導ハ適切ニシテ職員亦
能ク所長ノ意圖ヲ體シテ職務ニ精勵シ其成
績概ネ良好ナリト認ム然レトモ科學ノ進歩ト
經濟界ノ趨向トニ鑑ミ益々製造技微ノ改善
經營ノ合理化ニ勉メ愈々實績ノ向上ヲ圖リ以
テ 聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

細部ニ關スル注意ハ別ニ之ヲ指示ス

第一特命檢閲使

白川義則

一 暇

ノ 經 營 事 務 ノ 処 理 ハ 概 ネ 可 ナ ル モ 事 務 節 禮 = 就 テ ハ 尚 改 善

内 務 ノ 災 害 及 者 防 災 規 定 並 実 施 ハ 概 ネ 可 ナ ル モ 出 火

火 災 予 防 及 者 防 災 規 定 並 実 施 ハ 概 ネ 可 ナ ル モ 出 火

直 後 = 於 ケ ル 者 防 災 規 定 並 実 施 ハ 概 ネ 可 ナ ル モ 出 火

研 究 テ 整 ム 者 防 災 規 定 並 実 施 ハ 概 ネ 可 ナ ル モ 出 火

火 元 取 締 者 ノ 選 定 ハ 可 ナ ル モ 其 任 務 ハ 遵 應 時 前 後 = 限 定

ス ル = ト ナ ヲ 出 務 時 間 ノ 全 攸 = 亘 ル 如 ク 定 ム ル ヲ 可 ト ス

機 密 文 書 類 ノ 取 扱 ハ 概 ネ 可 ナ リ 地 方 名 士 ヲ 招 聘 シ テ 講 演 ヲ

行 フ 算 相 当 努 力 跡 ヲ 認 ム ル モ 現 時 ノ 世 相 = 鑑 ミ 職 員 中

適 任 者 ヲ シ テ 思 想 研 究 ヲ 行 ハ シ メ カ 善 導 = 願

テ ハ 國 体 觀 念 忠 君 愛 國 ノ 思 想 涵 養 = 努 ム ル ノ 着 意 ヲ 必

千住製紙所 區 = 興 フ ル 指 示 事 項

要 ト ス	二 主	(一) 各分業作業ニ應スル標準設備及工数ニ関シテハ相当ニ調	査研究シアルヲ認ムルモ平獸両時ニ於ケル要求ノ調和ニ	就テハ尚一段ノ考慮ヲ望ム	(二) 作業量ノ変動ニ應スル人員ノ統制使用ニ就テハ努力ノ跡	ヲ認ムルモ同接人件費ノ節約ニ就テハ尚一層ノ研究ヲ望	(三) 試験研究ニ関スル業務ハ概ネ適當ニ実施セラレ其実績亦	概ネ可ナルモ代用紙ニ就テハ関係部隊ト連携シ尚一層ノ	(四) 研究ヲ望ムモ代用紙ニ就テハ関係部隊ト連携シ尚一層ノ	三	(一) 年度軍需工業動員計画ハ概ネ可ナルモ計画書ノ編纂ニ就	テハ改善ヲ要スルモノアリ	資源調査ノ計画並之カ実施ハ概ネ可ナリ
-------------	-----	-------------------------------	---------------------------	--------------	-------------------------------	---------------------------	-------------------------------	---------------------------	-------------------------------	---	-------------------------------	--------------	--------------------

四、経理

五、衛生

(三)	(二)	(一)	衛生	四	三	二	(一)
場	当	テ	傾	核	ノ	職	尚
ヲ	所	一	向	概	ノ	員	リ
避	ハ	層	=	=	減	以	促
ケ	作	之	在	カ	シ	下	進
難	ノ	業	カ	ル	ス	ア	ノ
キ	性	少	=	ハ	ル	ハ	要
ヲ	質	=	ナ	リ	ハ	ノ	ア
以	上	ハ	ル	レ	ト	モ	リ
テ	マ	吸	ヲ	要	ス	概	測
「	マ	器	疾	患	ノ	使	定
マ	ス	器	疾	患	ノ	用	ノ
ス	ク	疾	患	ノ	使	ラ	定
ク	レ	疾	患	ノ	用	ト	規
レ	ノ	患	ノ	使	用	為	ト
ノ	使	用	ラ	確	実	ス	為
使	用	ラ	確	実	ナ	ハ	ス
用	ラ	確	実	ナ	ラ	キ	ス
ラ	確	実	ナ	ラ	シ	ム	ハ
シ	ム	ル	ト				
ム	ル	ト					
ル	ト						
ト							

(四) 診療所ノ設備並其業務ノ実施ハ概ネ良好ナリ

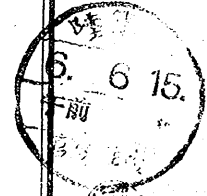
関

1088T



特檢通第一三二號

式第七二六號共三



訓示日時場所等ノ件ノ通牒

昭和六年六月十日第一特命檢閱使屬員西尾壽造

陸軍省初級河村重敏殿

首題ノ件左記ノ如ク決定セラレタルニ付通牒ス

左記

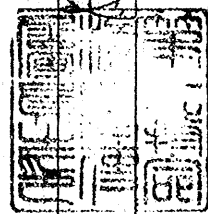
日時 六月十六日午前十時開始

場所 陸軍歩兵學校將校集會所

訓示順序

一 陸軍航空本部

二 陸軍歩兵學校



陸軍省

1090



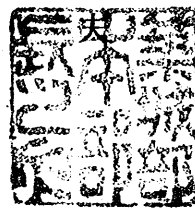
武
七三六
二七

築本特檢第一三號

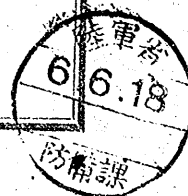
特命檢閱受檢ノ件報告

昭和六年六月十七日 築城部本部長 山内 靜

陸軍大臣 南 次 郎 殿



本年五月廿六日築城部鎮海灣支部同六月三日築城部本部同四日築城部横須賀支部ノ特命檢閱ヲ夫々受檢別紙ノ通訓示相受ケタルニ付右報告ス
追テ指示事項ニ對スル處理狀況及本職ヨリ隸下一般へ與へタル訓示別紙添付
ス



陸
軍

寫

○樂城部本部長ニ與フル訓示

昭和六年六月九日
於 東京

教旨ヲ奉シ樂城部本部及樂城部横須賀支部ノ檢閲ヲ實施セル結果ニ徴シ訓示ス

軍紀

軍紀ハ本部長ノ適切ナル指導ニ依リ概ネ良好ニ維持セラレアルモノト認ム

服務

本部長、部務ノ總理及各支部ノ統轄並指導ハ適切ニシテ本部及横須賀支部職員亦能ク本部長ノ意圖ヲ體シ職務ニ精勵シアルモノト認ム
内務ノ實績ハ概ネ可ナリ

主務

防禦營造物ノ建築及檢査ニ關スル計畫及實施ハ概ネ適當ナリ然レトモ經費ノ節減ニ懸スル設計ニ就テハ尙研究ノ餘地アルモノト認ム
關係官衙トノ連繫ハ概ネ可ナリ
調査及研究ノ實績ハ概ネ可ナリ

教育

教育ニ關スル本部長ノ方針並指導ハ適切ニシテ職員ノ實務ニ關スル識能ハ概ネ良好ナリ

保育

職員以下保健ノ状態ハ概ネ可ナリ

法規ノ實施

法規ノ實施ハ概ネ可ナリ

勤員

軍需工業勤員計畫ハ概ネ良好ナリ

會計經理

會計經理ノ成績ハ概ネ良好ナリト認ムルモ細部ニ於テハ尙研究ヲ要スルモノアリ

諸營造物

諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ

之ヲ要スルニ本部長ノ適切ナル監督指導ト本部職員並支部長以下ノ精勵トニ依リ
 諸般ノ成績概ネ良好ナリト認ム然レトモ軍事ノ進歩ト國軍現時ノ情勢トハ築城部
 ノ業務ヲ益々複雑ナラシムルニ鑑ミ愈々奮勵シテ本然ノ任務ニ邁進シ以テ 聖旨
 ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

細部ニ關スル注意ハ別ニ之ヲ指示ス

第一特命檢閱使 白川 義 則

○築城部鎮海灣支部長ニ與フル訓示

昭和六年五月廿八日
 於 釜 山

教旨ヲ奉シ築城部鎮海灣支部長ノ檢閱ヲ實施セル結果ニ徴シ訓示ス

軍 紀

軍紀ノ維持ハ概ネ可ナリ

服 務

支部長以下熱心職務ニ精勵シ其成績概ネ可ナリ然レトモ部内各科ノ連繫ニ關シ

テハ更ニ一段ノ注意ヲ要スルモノアリ

教育

支部長ノ教育計畫及實施ハ概ネ適當ナリ

保育

保育ハ概ネ可ナリ

法規ノ實施

法規ノ實施ハ概ネ可ナリ

軍機保護ニ關シ深甚ノ考慮ヲ拂ヒツツアルハ可ナリ然レトモ四圍ノ情勢ニ鑑ミ
其實施ヲ益々嚴ニシ遺漏ナキヲ期スヘシ

會計經理

會計經理ノ實施ハ概ネ適當ナリ殊ニ經費ノ節約ニ關シ考慮ヲ拂ヒツツアルハ可
ナリ然レトモ各種作業ノ實施ハ其要度ニ適應セシムル如ク努ムルヲ要ス

諸營造物

諸營造物ノ保存ハ概ネ可ナリ

之ヲ要スルニ支部長以下熱誠職務ニ服シ其成績概ネ良好ナリ將來益々奮勵努力シ研
究ヲ重ネ業務ノ完璧ヲ圖リ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期スヘシ

第二特命檢閱使 鈴木 孝 雄

特命檢閱使ヨリ與ヘラレタル指示事項及之ニ對スル處理狀況書

○ 築 城 部 本 部

指 示 事 項

處 理 狀 況

一、服 務

- (一) 火災豫防及消防ニ關スル規定ハ概ネ可ナルモ職員退廳後ニ於ケル附近官衙及軍隊トノ連繫ニ關シ具體的ニ研究ヲ要スルモノアリ
- (二) 非常持出書類ノ選定、收容區分、容器及搬出順序ニ就テハ當部業務ノ性質ニ鑑ミ研究ヲ要スルモノアリ

- (一) 退廳後ニ於テハ本部内宿直者ノ外近衛師團經理部倉庫守警及教育總監部宿直者ト連繫シ万全ヲ期セントス

二、主 務

- (三) 人馬異動錄、處罰錄、訓令訓示綴等ニ關スル書類ノ整理ハ十分ナラス
- (四) 機秘密書類ノ取扱ハ概ネ良好ナリ
- (一) 本部長ノ要塞工兵部員ノ業務指導ハ概

- (二) 非常持出書類ノ選定、收容區分及容器ニ就テハ尙全般的ニ研究ヲ重ネ最小限度ニ止メントス又持出箱ノ搬出順序ナキモノハ夫々其順序ヲ明瞭ナラシメタリ
- (三) 人馬異動錄、處罰錄、訓令訓示綴ハ整理ヲ完了セリ

ネ良好ナリ

(二)業務遂行ノ爲ノ諸研究及調査ハ概ネ適當ナリト認ム然レトモ要塞ノ偽裝及防毒ニ關シテハ尙一層研究ノ徹底ヲ要スルモノアリ

(三)各種防禦營造物ノ要度ニ應スル設計及經費ノ配當ニ就テハ相當考慮シアルヲ認ムルモ經費緊縮ノ現況ニ鑑ミ關係機關ト連繫シ一層ノ研究ヲ望ム

(四)軍機保護ニ關スル著意竝支部ノ指導ハ概ネ適當ナリ

(五)要塞建築ノ爲兵器本廠トノ連繫ハ相當努力ノ跡ヲ認ム

三、教育

將校、准士官、下士教育ニ關スル企畫並實施ハ概ネ可ナルモ將校ニ對スル戰術就中要塞ニ關係アル海戰術ノ教育竝研究ハ本務遂行ノ爲一層勵行ノ餘地アルモノト認ム

四、動員

(二)要塞ノ偽裝及防毒ニ關シテハ關係官衙ト連繫シ更ニ具體的研究ヲ進メントス

(三)各種防禦營造物ノ要度ニ關シテハ經費緊縮ノ現況ニ鑑ミ之ニ順應スル如ク關係機關ト連繫シ其主旨ニ副フ如ク尙一層努力セントス

將校ニ對スル要塞戰術就中海戰術ニ就テハ特ニ重砲兵學校及海軍ノ諸學校ト連繫シ其研究ヲ期セントス

資源調査ニ關スル計畫並之カ實施ハ概ネ可ナリ

五、兵器

供用兵器ノ手入並兵器事務ノ整理ハ概ネ可ナリ

六、經理

(一)豫算ノ使用ニ關スル計畫實施ハ概ネ適當ナリト認ムルモ之カ統制ヲ徹底セシムル爲各支部配當豫算ニ就テハ尙研究ノ餘地アリ

(二)物件ノ調達指導ハ概ネ可ナルモ統一調辨ニ就テハ尙研究ノ餘地アリ

七、衛生

職員以下ニ對スル健康診断ハ概ネ適當ニ實施セラレアルモ將校及下士ニ對スル健康簿ノ様式規定ニ合セサルモノアリ

(一)豫算統制ノ徹底ニ關シテハ豫算ノ大部ヲ本部ニ於テ掌握シ工事用器材ハ之ヲ本部ヨリ補給スルヲ有利トスルヤ或ハ豫算ヲ各支部ニ令達シ器材ノ統一調辨ニ依ルヤ或ハ其他ノ手段ニ依リ實施スルヲ有利トスルヤヲ比較研究スヘシ

(二)統一調辨ニ關シテハ前項ト關連シ之レカ實施ノ範圍ニ關シ更ニ研究スヘシ
健康簿ノ様式ハ昭和四年陸普第四七五二號ノモノニ合スル如ク調製ス

○ 築城部 横須賀支部

一、服 務

(一) 火災及非常時ニ於ケル要塞司令部トノ
協同連絡ニ關シテハ具体的ニ研究シ置
クヲ要ス時ニ職員退廳後ニ於ケルモノ
ニ於テ然リ

(二) 機密書類ノ取扱ハ概ネ良好ナリ

二、主 務

(一) 支部長ノ工事實施ニ關スル部署及指導
ハ概ネ良好ナリ然レトモ工事着手前並
工事間ニ於ケル偽裝ニ就テハ尙一層働
行ノ餘地アリ

(二) 支部ノ築城作業ト備砲班ノ備砲工事ト
ノ協同連絡ニ就テハ相當努力ノ跡ヲ認
ムルモ作業全般ノ堅確ト迅速トヲ期ス
ル上ニ於テ尙一層相互ノ協定ヲ緊密圖
滑ナラシムルノ要アリ

(三) 軍機保護ニ關スル著意及實施ハ概ネ可
ナリ然レトモ尙細部ニ於テ一層注意ヲ

(一) 目下要塞司令部ト協議シ具体案研究
中ナリ

(一) 現在げ施中ノ工事ニ就テハ調査ノ上
直ニ不備ノ點ヲ補修ス又將來ノ工事
ニ就テハ工事着手當初ヨリ先ツ之カ
偽裝ヲ行フコトニ注意ス
(二) 終始大局ニ着眼シテ事ノ利害得失ヲ
判断シ互ニ意ヲ盡シテ完全ナル諒解
ヲ遂クルコトニ努ム

(三) 一層注意ヲ周密ニシテ萬遺餘ナカテ
シメントス

三、兵器 要スルモノアリ

供用兵器ノ手入ハ可ナルモ兵器受拂簿ト配當簿トノ數量一致シアラス調査整理ヲ要ス

四、經理

經理ノ成績ハ概ネ良好ナリ

五、衛生

職員以下ノ健康診斷ハ概ネ適當ニ實施セラレアルモ將校及下士ニ對スル健康簿ノ様式規定ニ合セサルモノアリ

○ 築城部

○ 鎮海灣支部

訓示

處理狀況

服務

支部長以下熱心職務ニ精勵シ其成績概ネ可ナリ然レトモ部内各科ノ連繫ニ關シテハ更ニ一段ノ注意ヲ要スルモノアリ

受拂簿ノ數量正確ナルモ配當簿ニ記入漏アリタルニ付訂正ス尙將來注意ス

成規類聚第十七類所載醫務室及衛戍病院所要簿表ノ規定ヲ參照シ改正ス

各科ノ連繫ニ關シテハ常ニ相互意志ノ疏通ト圓滑ナル協同トヲ骨子トシ之ニ實務上ノ細部事項ヲ結ヒ付ケ萬端ノ連

法規ノ實施

軍機保護ニ關シ深甚ノ考慮ヲ拂ヒツツアルハ可ナリ然レトモ四圍ノ情勢ニ鑑ミ其實施ヲ益々嚴ニシ遺漏ナキヲ期スヘシ

會計經理

會計經理ノ實施ハ概ネ適當ナリ殊ニ經費ノ節約ニ關シ考慮ヲ拂ヒツツアルハ可ナリ然レトモ各種作業ノ實施ハ其要度ニ適應セシムル如ク努ムルヲ要ス

繁ニ努メツツアルモ將來益々周到綿密ナル計畫ノ基ニ其ノ實施ニ遺漏ナキヲ期ス

四圍ノ情勢ニ鑑ミ部内各幹部以下至嚴ノ注意ヲ怠ラサルト共ニ部外各官憲トノ連絡ヲ密實ナラシメ遺憾ナキヲ期ス

經理ノ節約ニ就テハ國情ニ照シ益々考慮ヲ拂フト共ニ各種作業ノ要度ニ順應スルヲ第一義トスヘキコトヲ徹底シ輕重本末ヲ辨ヘ以テ一層ノ改善ニ努力ス

訓示

本年五月及六月實施セラレタル本部竝横
 須賀、鎮海灣兩支部ノ特命檢閲ニ於テ良
 好ナル成績ヲ擧ゲ得タルハ之等諸官カ平
 素能ク本職ノ意圖ヲ體シ熱誠其職務ニ精
 勵セシ結果ニシテ茲ニ其勞ヲ多トス
 檢閲使ヨリ與ヘラレタル訓示竝指示事項
 ニ關シテハ受檢各部ハ勿論其他ノ支部ニ
 於テモ各々現況ト對比シ宜シク其本旨ヲ
 咀嚼研究シ以テ長所ハ愈々之ヲ助長スル

ト共ニ其短所ニ對シテハ著々改善向上ノ
 實ヲ舉ケ和衷協力益々本來ノ任務ニ邁進
 シ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期スヘ
 シ

右訓示ス

昭和六年六月十五日

築城部本部長山内静夫